

前回定例会以降の動き

柏崎市危機管理部 防災・原子力課

1 第163回新潟県原子力発電所周辺環境放射線測定技術連絡会議【6月8日】

テレビ会議で参加。以下について審議された。

- ・令和2年度の環境放射線監視調査結果について
- ・令和2年度の環境放射線監視調査結果の評価（案）について
- ・令和2年度の環境放射線監視調査結果の評価（案）に対する意見公募について
- ・第75回新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議に向けたスケジュールについて

2 令和3年度第1回新潟県原子力発電所温排水等漁業調査技術連絡会議【6月8日】

テレビ会議で参加。以下について審議された。

- ・令和2年度柏崎刈羽原子力発電所温排水等漁業調査結果について
- ・令和2年度柏崎刈羽原子力発電所温排水等漁業調査結果の評価（案）について
- ・今後のスケジュールについて

3 安全協定に基づく月例状況確認【6月10日】

新潟県・刈羽村と共同で以下について、状況確認を実施した。

- ・5号機 循環水ポンプ建屋
- ・7号機 原子炉建屋ギャラリー室、タービン建屋ギャラリー室
- ・低レベル放射性廃棄物ドラム缶の構内運搬に係る不適合の再発防止対策の実施状況
- ・固体廃棄物処理建屋における水の漏えい箇所

以上

第216回定例会 委員ご質問への回答

【質問】

「実効性のある避難」について、大雪の時は家の中に避難して、天候がよくなったら避難しろと言っているが、周りを放射能が降り注いでいる中でも逃げろというのか。被ばくししながら逃げるのは実効性のある避難と言えるのか教えて欲しい。

【宮崎委員】

【回答】

避難計画の実効性については、様々な想定に基づいて訓練を積み重ね、問題点を洗い出し、課題解決を図りながら計画の実効性を高めているところであります。

計画が書面上の計画で終わることのないよう、今後も条件を変えながら、様々な想定で訓練を行うことで、原子力災害時における対応力の向上を図るとともに、避難計画へ反映してまいります。

大規模自然災害との複合災害における避難においては、人命の安全を第一としています。自然災害による人命への直接的なリスクが極めて高い場合等には、自然災害に対する避難行動をとり、自然災害に対する安全が確保される後に、原子力災害に対する避難行動をとることを基本にしています。

その防護措置の実施に当たっては、国、県と連携して、人命の安全を第一として適切に対応してまいります。

【質問】

東電のコロナ感染者について、一部委員から居住地等の詳細な情報を出すよう東電に要望があるが、事業者が詳細な情報を出すことについて、自治体としての見解はどうか。【三井田委員】

【回答】

新型コロナウイルス感染者の発生に伴う企業名の公表につきましては、市といたしまして感染者の所属企業・団体等を積極的に公表しているということはありません。

感染者の所属する企業・団体が自発的に「社会的責任」に鑑みそれぞれの判断において従業員等の感染をホームページ等で公表されていることを市として確認できた場合に限り、市長記者会見において、報道機関からの質問に答える形でお伝えしている状況です。その際にも、公表されている企業・団体へは事前に了解をいただいた上で

お答えするようにしております。

なお、市立保育園、小中学校等で感染者が発生し住民に与える影響が大きい場合には、市として感染拡大防止と風評被害防止の観点から、施設名等をきちんと公表させていただいております。